

## 第7回長野県U-11サッカー選手権大会（チビリンピック長野県予選）

### 大会要項

1. 名称 第7回長野県U-11サッカー選手権大会（兼チビリンピック長野県予選大会）
2. 主催 一般社団法人長野県サッカー協会
3. 共催 佐久市体育協会
4. 開催協力 P & P 浜松 共同写真企画
5. 主管 一般社団法人長野県サッカー協会4種委員会
6. 日程 2021年11月14日（日） 1,2回戦  
11月21日（日） 3,4回戦  
11月27日（土） 準々決勝  
11月28日（日） 準決勝・3位決定戦・決勝・閉会式
7. 会場 佐久総合運動公園陸上競技場 松本市サッカー場 千曲市サッカー場 筑北村サッカー場  
中野市多目的サッカー場 塩尻市中央スポーツ公園サッカー場
8. 参加資格 2021年度（公財）日本サッカー協会第4種に登録されたチームで、選手は2021年度選手証を有する、4月1日現在小学校5年生以下であること。  
審判員2名（内1名は3級以上）を大会期間中帯同できること。  
県代表2チームに選ばれた場合、北信越大会（2022年3月富山県開催）への出場を義務付ける。  
（附則）1クラブから複数チームのエントリーを可とする。ただしチーム名は日本サッカー協会登録チーム名の後ろにA、B…を付けるに留めること。
9. チーム構成 引率指導者3名以内、選手16名以上とする。ただし、各試合に於いて出場、ベンチ入りできる選手は試合毎に登録された16名以上18名以内とする。
10. 組み合わせ （一社）長野県サッカー協会4種委員会による責任抽選とする。
11. 試合方法 トーナメント戦 勝敗の決しない場合はPK方式（3名）により次戦への進出チームを決定する。  
準決勝、3位決定戦、決勝は10分間の延長ピリオド（前・後半5分）を行い、なお決しない場合はPK方式による。
12. 競技規則 2021/22年度競技規則および8人制サッカー競技規則によるが「チビリンピック少年サッカー大会競技規則」に従い次を別に定める。  
（1）競技者の数 8人（内1名はゴールキーパー）とする。（常に8人とする。）  
（2）試合時間・方法 36分（12分×3ピリオド）
  - ①第1ピリオドと第2ピリオドは選手を総替えすること。同一選手が連続して出場することはできない。また、同一選手の出場は2ピリオドまでとし、3ピリオド連続で出場することはできない。
  - ②けが、退場等で選手が退く場合、残った選手から補充しなければならない。この場合も同一選手が3ピリオド連続で出場することはできない。

- ③けが、出場停止処分等により選手数が15名以下になった場合、同一選手が第1ピリオドと第2ピリオドに連続出場することを認める。ただし、3ピリオド連続して出場することは出来ない。
- ④第1ピリオドと第2ピリオドの間のインターバルはとらない。選手総替えに要する時間のみとする。第2ピリオドと第3ピリオド間は、インターバル5分とする。
- ⑤飲水タイムはとらない。必要な場合は、各ピリオド間またはアウトオブプレーの時タッチラインまたはゴールライン上で飲水すること。
- ⑥PK戦(3名)は、最終ピリオド終了時フィールドにいた選手のみに参加資格がある。
- ⑦第3ピリオドのサイドはコイントスにて決定し、6分経過した時点でサイドチェンジする。
- ⑧キックオフから直接得点することはできない。直接ゴールラインを超えた場合は、ゴールキックにより再開する。
- ⑨延長戦には選手の出場制限を設けない。
- ⑩第3ピリオドに出場する選手は、第2ピリオド終了までに第4審判に申し出れば良しとする。

### (3)ユニフォーム

- ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォームを持参し、いずれかを着用しなければならない。正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ②審判が通常着用する黒色と同一または類似したシャツを用いることは出来ない。ゴールキーパーについても同様である。
- ③主審は両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。その場合、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ、及びソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することが出来る。
- ③アンダーシャツ、アンダーショーツまたはタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものとする。
- ④ソックスの上にテープを巻く場合、テープの色は問わない。

13.選手交代 自由な交代ではない。再交代制（一度退いた選手も再び出場できるが、アウトオブプレーの時主審の許可を得て交代する）を適用する。交代の進め方は競技規則第3条に則るが、交代カードは使用しない。  
治療のため一時的にフィールドを離れる場合も選手を補充し、常に8人としなければならない。補充した選手は、短時間であっても1つのピリオドに出場したことになるので、3つのピリオドに出場しないように注意すること。  
交代して退く選手は、最も近いタッチラインまたはゴールラインから退くこと。

14.警告・退場 (1) 退場および累積警告2回を受けた選手は、次の試合の出場を認めない。  
以降の処分については(公財)日本サッカー協会懲罰規定に基づき、(一社)長野県サッカー協会規律委員会において裁定する。  
(2) 選手が退場処分を受けた場合、ベンチ入りしている選手から補充し8名としなければならない。

15.審判 (1) チーム帯同制により、4人制を採用する。主審は、3級以上の審判員とする。  
(2) 副審、第4審のみの割り当てであっても、3級以上の審判員1名を帯同しなければならない。

16.その他 (1)キックオフ60分前にマッチミーティングを行う。  
(2)マッチミーティングの際持参するユニフォームは、現物または写真(A4用紙に1セットづつ印刷された前後からの着用全身写真)どちらでも可とする。  
(3)各試合、カード選手証または電子選手証の携行を義務付ける。選手証を携行しない場合、試合に出場することは出来ない。